

大臣確認申請した項目に変更が生じた場合の報告様式について

令和 5 年 3 月 10 日
文部科学省研究振興局
ライフサイエンス課
生命倫理・安全対策室

研究開発等に係る遺伝子組換え生物等の使用等のうち、「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」（平成 15 年 6 月 18 日法律第 97 号。以下、「法」という。）に基づき、「研究開発等に係る遺伝子組換え生物等の第二種使用等に当たって執るべき拡散防止措置等を定める省令」（平成 16 年 1 月 29 日文部科学省・環境省令第 1 号。以下、「二種省令」という。）に拡散防止措置が定められていないものについては、使用に先立ち大臣による確認を受けることとされている。

大臣による確認を受けた申請書に変更が生じた際、次に掲げる項目にのみ変更が生じた場合については、大臣確認を受けた者は、速やかに別添様式により、報告するものとする。
実施予定期間の変更にあつては、変更前の予定期間の終了前に報告すること。

- ・ 申請者の氏名（法人の場合にあつては、法人の名称及び代表者）、申請者の住所
- ・ 第二種使用等をする場所の名称（建物・部屋が同一の場合に限る）
- ・ 実験の管理者の所属機関の名称及び職名、氏名、住所
- ・ その他の連絡先（所属機関の名称及び職名、氏名、住所）
- ・ 第二種使用等の実施予定期間
- ・ 遺伝子組換え生物等の安全な取扱いについて検討する委員会（安全委員会）の委員長名

なお、第二種使用等をする場所や遺伝子組換え生物等の特性の変更は、拡散防止措置について、改めて大臣による確認を受けること。

様式

申請書の記載内容の軽微な変更に係る事務連絡

年 月 日

文部科学省研究振興局ライフサイエンス課
 生命倫理・安全対策室
 安全対策官 殿

氏名
 申請者
 住所

遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律第13条第1項の規定により申請した、第二種使用等拡散防止措置確認申請書の記載内容について、下記のとおり変更したので連絡します。

第二種使用等の名称	
申請日	
申請者の氏名、申請者の住所	変更前：
	変更後：
第二種使用等をする場所の名称	変更前：
	変更後：
実験管理者の所属機関の名称及び職名、氏名、住所	変更前：
	変更後：
その他の連絡先（所属機関の名称及び職名、氏名、住所）	変更前：
	変更後：
第二種使用等の実施予定期間	変更前：
	変更後：
安全委員会の委員長名	変更前：
	変更後：
変更が生じた日	

備考

- 1 報告者が法人の場合にあつては、「申請者の氏名」については、法人の名称及び代表者の氏名を記載し、「申請者の住所」については、主たる事務所の所在地を記載すること。
- 2 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 3 「第二種使用等の名称」、「申請日」及び「変更が生じた日」以外の項目について、変更のあつた行以外は削除して使用すること。
- 4 「実験管理者の所属機関の名称及び職名、氏名、住所」、「その他の連絡先（所属機関の名称及び職名、氏名、住所）」の変更については、電話番号、ファクシミリ番号、電子メールアドレスに変更あれば、併せて記載すること。